

RFノイズ解析事例

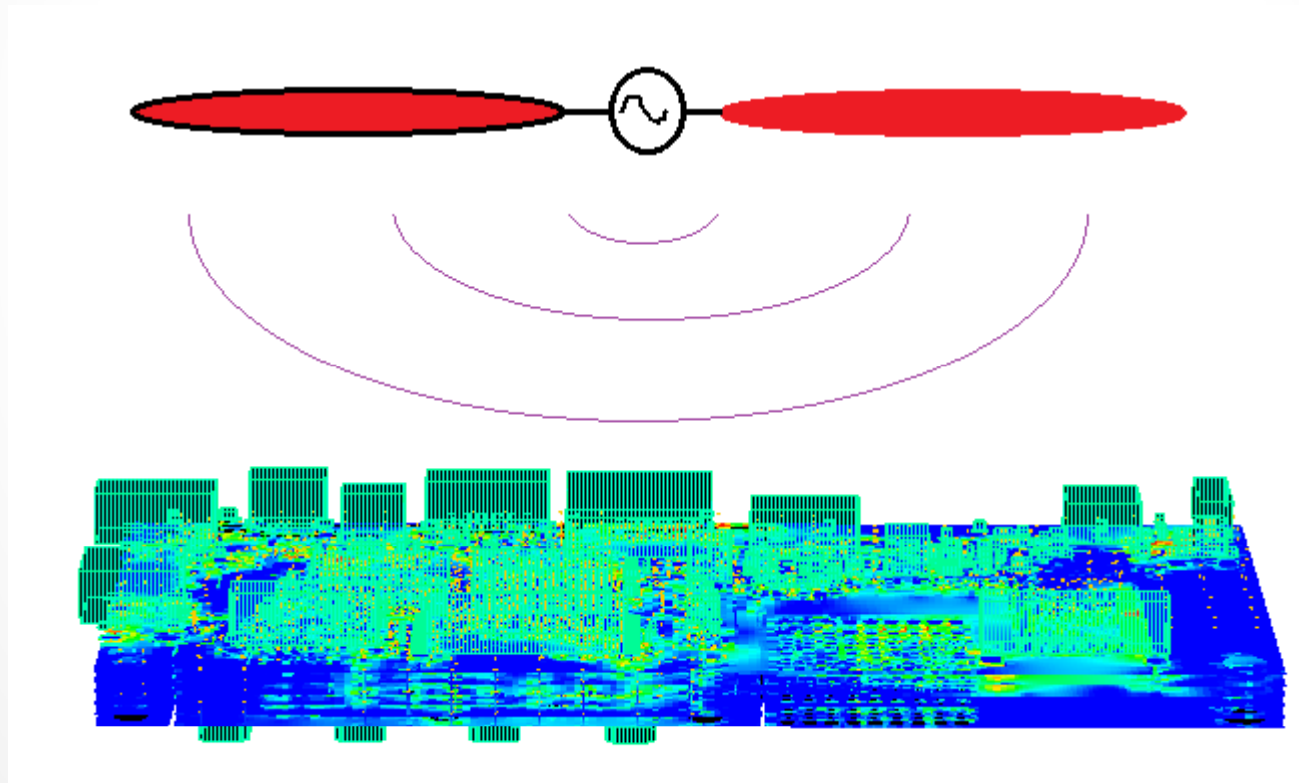
(S-NAP PCB Suite紹介資料)

2014年6月

株式会社 エム・イー・エル

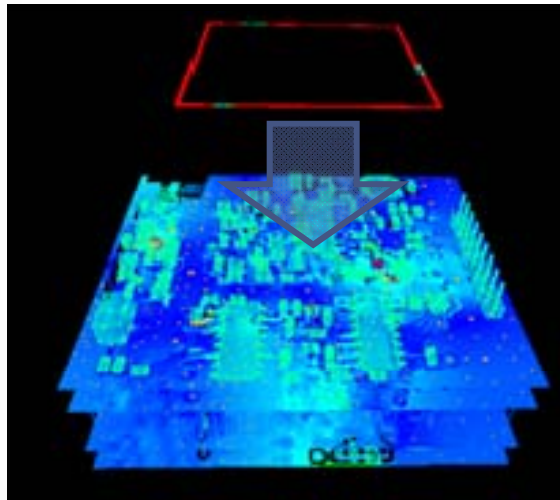
外来高周波ノイズの影響を解析

- 基板の上側に層を追加しアンテナ相当のものを作ること
で、図のようなイメージの解析を行うことができる

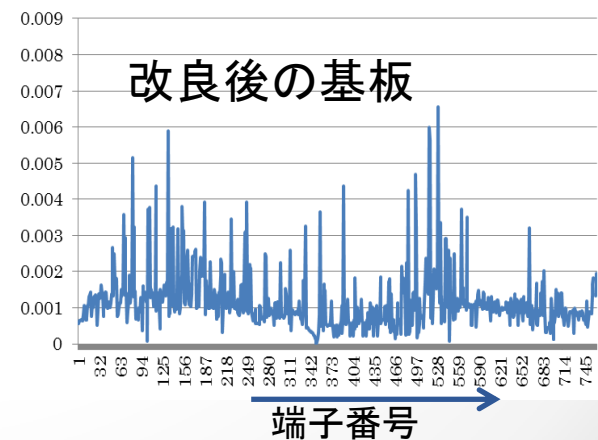
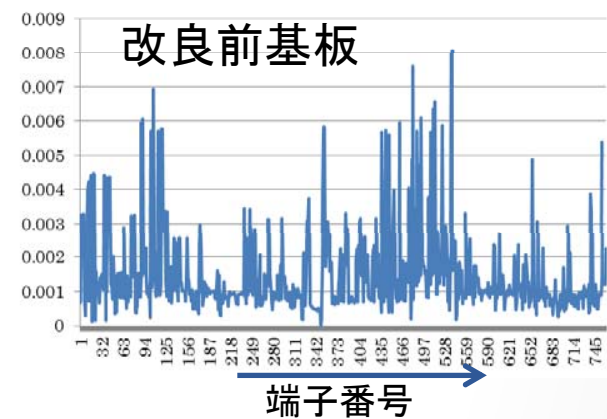


誘起ノイズ電圧の比較

- 上部アンテナから900MHzを放射した場合の全端子電圧
- 改良後の基板は誘起電圧が下がっていることがわかる
- アートワークが完成した時点で良否の見当をつけることができる



全端子電圧をエクセルを用いて確認可能



まとめ

- 上側に層を追加しアンテナ相当のものを作ることで外来高周波ノイズを模擬が可能
- 基板改良後に対ノイズ性がUPしたかどうかは、基板を作成しなくても見当をつけることができる。